

奄美地域の重粘土壌におけるエダマメ播種作業の省力技術

エダマメ播種作業は、播種機具の利用で労働時間を6割削減でき、収量も手播きと同等

背景・目的

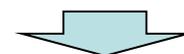
- ・奄美地域では、高収益が期待できるエダマメが増加傾向
- ・播種作業に多くの時間がかかるため、省力化が必要
- ・市販されているハンディタイプの播種機具について、奄美地域の重粘土壌での適応性と省力化を検討する

成果の内容

- ・播種の労働時間は、6割削減可能(図1, 2)
- ・発芽率, 収穫時の生育及び収量は、播種方法による差はない(図3, 4, 生育データ略)
- ・砕土率の低い(土塊が大きい)圃場では、発芽率が低いため、砕土率の高い圃場を選定し栽培する(図4, 5)

期待される効果

○播種の労働時間削減



栽培面積の拡大



播種機具による栽培の発芽状況

○普及対象・範囲 奄美地域のエダマメ生産者

鹿児島県農業開発総合センター
徳之島支場園芸土壌研究室

(農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究)

(R03)



図1 播種機具による播種作業状況

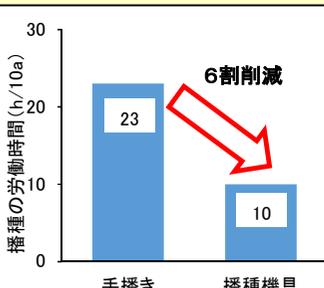


図2 播種の労働時間

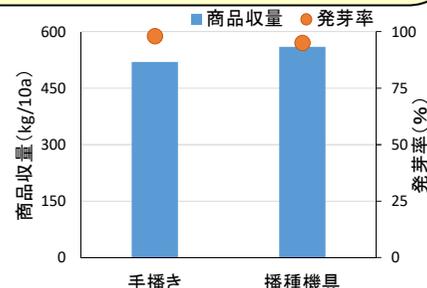


図3 播種方法の違いが発芽率と収量に及ぼす影響(試験圃場の砕土率70%)

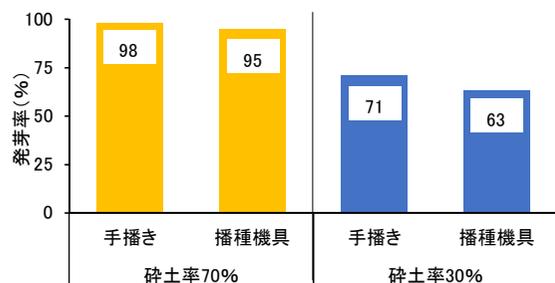


図4 圃場の砕土率と播種方法が発芽率に及ぼす影響



図5 発芽率の高い砕土率70%圃場と発芽率の低い砕土率30%圃場の土塊